

投資家・国民の皆さま

WEB はウェブサイトのみに掲載している記事を示しています。

透明性の高い経営の推進と着実な債務の返済

外部評価による透明性確保

- ▶ 事業評価監視委員会による外部評価を受け、事業の効率性・透明性を向上させています

低利率かつ安定的な資金調達

- ▶ 道路建設資金の安定的な調達に努めています

WEB

不正通行対策

防止対策や啓発の強化

- ▶ 防止対策や啓発の強化によって、不正通行件数は年々減少しています
- ▶ 不正通行調査隊を組織しています **WEB**

ステークホルダーとの対話

社長による定例記者会見

- ▶ 毎月の開催を通じて、事業への理解の浸透に努めています

投資家・金融機関の皆さまとの対話

- ▶ 事業説明会を毎年開催し、わかりやすく丁寧な情報提供を心がけています **WEB**
- ▶ 個別訪問を実施し、タイムリーな情報提供を心がけています **WEB**

地域住民の皆さまとの対話

- ▶ 地元・関係者の皆さまとの協議・事前説明を徹底しています **WEB**

現場見学会「なるほど！高速道路発見」

- ▶ 高速道路の現場を多くの方々に見学していただいています **WEB**

メディアを通じた情報発信

ウェブサイトでの情報発信

- ▶ ウェブサイトの全面リニューアルを行いました

集中工事情報の広報

- ▶ 快適にご利用いただけるよう、積極的な情報発信に努めています **WEB**

透明性の高い経営の推進と着実な債務の返済

外部評価による透明性確保

事業評価監視委員会による外部評価を受け、事業の効率性・透明性を向上させています

NEXCO西日本では事業の効率性・透明性の向上を図るため、社外の有識者からなる事業評価監視委員会を設置しています。2016年度は2回開催し、当社的高速道路事業について第三者の立場から評価をいただき、今後の事業計画に役立てています。委員会の開催状況及び議事要旨はウェブサイトで公開しています。

2016年度 事業評価監視委員会 委員

○ 常任委員

出野 精二 ((公社)関西経済連合会 常務理事・事務局長)
帯野 久美子 ((株)インターアクト・ジャパン 代表取締役)
齋藤 峻彦 (近畿大学名誉教授) = 委員長
出野 精二 ((社)関西経済連合会 常務理事・事務局長)
戸田 常一 (広島大学大学院教授)
中瀬 勲 (兵庫県立人と自然の博物館 館長)

○ 特別委員

平井 彰 (一般社団法人九州経済連合会 常務理事・事務局長)
中野 晋 (徳島大学教授)

2016年度 事業評価監視委員会 事業評価対象事業

○ 再評価

近畿自動車道 (御坊～南紀田辺) 4車線化27.2 k m
九州横断自動車道 (長崎～長崎多良見) 4車線化11.3 k m
中国横断自動車道 (播磨新宮～山崎) 11.4 k m
四国横断自動車道 (徳島東～徳島) 4.7 k m
計4事業54.6km

※1 再評価：採択後3年を経過して未着工の事業および5年を経過して継続中の事業、再評価実施後3年経過した時点で継続もしくは未着工の事業について実施し、事業の継続もしくは中止の方針を決定します。

関連ページ

▶ [平成28年度 西日本高速道路株式会社 事業評価監視委員会](#)

低利率かつ安定的な資金調達

道路建設資金の安定的な調達に努めています

高速道路事業の遂行に必要な資金については、社債の発行や民間金融機関からの借入等によって調達しています。建設から管理まで長期にわたる事業となるため、低利かつ安定的に調達できるよう努めています。

▼資金調達の推移（単位：億円）



関連ページ

- ▶ [高速道路事業とNEXCO西日本の役割（高速道路機構の債務残高）](#)

不正通行対策

防止対策や啓発の強化

防止対策や啓発の強化によって、不正通行件数は年々減少しています

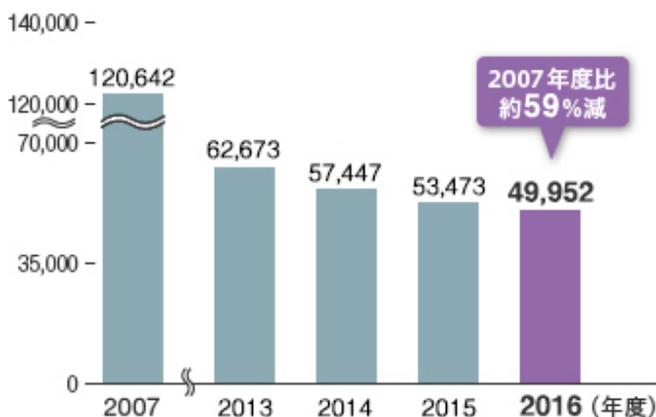
有料道路事業は、道路をご利用されるすべてのお客さまから公平に通行料金をご負担いただくことで成り立っています。

レーンを強行突破するなど不正に通行料金の支払いを免れる行為（不正通行）は、公平性の原則を揺るがす犯罪行為です。

そこで、当社では、毎年「不正通行対策強化月間」を設けて、警察との合同取り締まりをはじめとした各種取り組みを実施しています。また、ETCの使用方法を含めた不正通行事前防止の啓発活動も行っています。こうした取り組みによって、不正通行件数は年々減少しています。

今後も「不正通行は断固許さない」という毅然とした態度で、悪質な不正通行の分析調査に注力するとともに、警察の捜査にも積極的に協力し、その撲滅を目指していきます。

▼不正通行件数※の推移（単位：件）



※不正通行発生件数：後日課金申し出のあった車両を除き、通行料金を支払わず料金所を突破した車両の通行件数。ETC通信ができなかったことに気づかず、未課金のまま通過してしまった車両（ETC未課金車両）も含む。

さまざまな不正通行対策



「お知らせアンテナ」を設置し、ETCカード未挿入等による未精算通過を防止



不正通行を防止する開閉バーを一般レーンにも設置



料金所での立哨監視を強化するとともに、警察と連携した取り締まりも推進

不正通行調査隊を組織しています

上記のような不正通行対策のほか、不正通行者を特定するためのカメラを設置しています。また、専門チーム「不正通行調査隊」を組織し、走行のデータ分析や実態調査、警察への通報に必要な証拠収集などを行っています。

2016年度は、4件の逮捕・検挙があったほか、不正通行者16件を認定し、不法に免れた料金の3倍に相当する額を請求しました。

関連ページ

- ▶ [NEXCO西日本の事業エリアにおける不正通行の事例](#)

ステークホルダーとの対話

社長による定例記者会見

毎月の開催を通じて、事業への理解の浸透に努めています

当社グループの経営状況、建設・管理、関連事業等への取り組みに対する理解を深めていただくため、社長による記者会見を毎月開催し、情報発信に努めています。



記者会見

投資家・金融機関の皆さまとの対話

事業説明会を毎年開催し、わかりやすく丁寧な情報提供を心がけています

当社では、毎年7月頃に東京で、投資家や金融機関の皆さまを対象に事業説明会を開催し、当社の事業に対する理解を深めていただくよう努めています。質疑応答などを通じて、経営層と直接対話いただく機会とすることで、双方向コミュニケーションの場としても活用いただいています。

2016年度は、38機関74名の社債投資家や金融機関にご参加いただき、企業情報や決算情報に加え、熊本地震での被害・復旧状況、高速道路リニューアルプロジェクト（特定更新等工事）の主な工事計画、新名神高速道路の建設状況のほか、近畿圏の料金体系に関する議論の状況についてご説明しました。

今後も皆さまの関心が高い事項をご説明するなど、より充実した説明会となるように努めてまいります。

投資家・金融機関の皆さまへの個別訪問を実施し、タイムリーな情報提供を心がけています

年度計画公表時や決算発表時など、時機をとらえて、投資家や金融機関の皆さまが多い東京を中心に個別訪問を実施し、事業内容や関心が高い事項についてタイムリーな情報提供に努めています。2016年度も45件の個別訪問を実施しました。

今後も、当社の事業に対するいっそうの理解促進を図るべく、積極的な情報提供に努めていきます。



2016年7月22日の事業説明会

地域住民の皆さまとの対話

高速道路の新設・改築の際は、地元・関係者の皆さまとの協議・事前説明を徹底しています

高速道路を新設・改築する際には、地元自治体や警察、公共施設の管理者などの各関係機関や、計画道路の沿道地域の皆さまと入念な協議を重ねたうえで事業を進めています。

また、説明会や設計協議 [☞](#) の場でいただくご意見については、設計や計画に可能な限り反映させるよう努めています。

事業の全体概要はもちろん、環境対策や事業用地の取得など特に関心の高い事項については、必要に応じて現地での立ち会いや説明会を実施し、関係者の十分な納得が得られるまで説明を行っています。



事業説明会（新名神大津事務所）



境界立会（新名神京都事務所）

現場見学会「なるほど！高速道路発見」

高速道路の現場を多くの方に見学していただいています

普段は、目にすることのできない高速道路の現場を多くの方に見学していただき、当社の安全・安心の取り組みなどを“なるほど！”と発見していただく、現場見学会「なるほど！高速道路発見」を2014年度から開催しています。これまでに1,404組3,581人のご応募をいただき、260組825人のお客さまにご参加いただきました。

道路建設事業では新名神高速道路をはじめとした各地の建設工事現場、道路保全事業では道路維持や道路パトロールで使用する車両の乗車体験などの見学会を開催しました。

また、社員の技術力向上を目的として開設した茨木技術研修センターでは、親子を対象に、劣化した橋梁のたたき点検、料金所など、高速道路に関係するさまざまな業務を体験していただきました。

2016年度には従来の一般募集に加え、包括連携協定を締結している大阪府、京都府と連携して両府の専門学校生、高校生を対象にした見学会を初めて開催し、将来を担う学生のみなさんの知見を広げる一助になったものと考えております。

参加いただいたお客さまからは「環境や地元に配慮した工事で安心した」「開通後に通るのが楽しみ」「たくさんの方のおかげで快適なドライブができることを実感した」などのご感想をいただいています。

今後も親子で参加していただける夏休み企画などのニーズの高い見学会を開催し、多くのお客さまに当社の安全・安心の取り組みなどを知っていただけるよう、積極的な広報に努めていきます。



パトロール車両乗車体験の様子



新名神高速道路
現場見学会の様子



建設見学会の専用受付サイト
「なるほど！高速道路発見」



学生向け現場見学会の様子

メディアを通じた情報発信

ウェブサイトでの情報発信

ウェブサイトの全面リニューアルを行いました

当社では、2015年度にウェブサイトを全面リニューアルし、お客さまが必要とする情報にたどり着けるよう、お客さまの閲覧状況を分析し、サイト構成を変更するとともに、ニーズの高い情報を厳選し、利便性向上を図りました。また、インバウンド対応として、従来の英語に加え、中国語（繁体字）、中国語（簡体字）、韓国語の4言語のサイトを構築し、サービスの充実を図りました。

2016年度には工事規制予定ページについて、料金検索サイトと同様の操作方法とするとともに、通行止め等の規制種別及び規制の表示色をアイハイウェイと合わせることで、よりお客さまへ伝わるサイト構成へ改善を図りました。

また、多言語サイトでは、従来の訪日外国人を対象とした周遊型の高速道路割引企画「九州エクスプレスウェイパス (Kyushu Expressway Pass)」に続き、「山陰・瀬戸内・四国エクスプレスウェイパス (San'in-Setouchi-Shikoku Expressway Pass)」を掲載するとともに、日本政府観光局 (JNTO) を通じて国内外へ積極的に情報発信を行っております。

さらに、NEXCO西日本公式Facebookでは、SAPAで販売する各地の特産品・名産品特集を展開し、大雪などの異常気象時には、気象予測を基に通行止めが予想される区間をお知らせし、フォロワーを通じて口コミによる情報の拡散を図っております。

▼工事規制予定 検索画面



▼公式facebook



▼工事規制予定 検索結果 (地図)



▼SAPA特集



▼多言語サイトTOP



▼異常気象に伴う出控え広報



▼KEP特設サイト



▼SEP特設サイト



- ▶ facebook [🔗](#)
- ▶ 新名神動画 [🔗](#)

集中工事情報の広報

高速道路を快適にご利用いただけるよう、積極的な情報発信に努めています

当社では、50周年を迎えた名神高速道路をはじめとして、建設から30年以上が経過した道路を多く管理しており、老朽化した高速道路の抜本的な補修を行っております。

特に、2015年3月25日に国土交通省より事業認可を受け、本格的に着手した高速道路リニューアルプロジェクト（大規模更新・修繕事業）では、長期間にわたる交通規制が必要となります。



リフレッシュ工事特設サイト



ウェブサイト



ポスター



リーフレット